

平成19年度 医療安全研修会

予告

平成 19 年度医療安全研修会を、下記日程で開催します。
研修会の詳細が決定され次第、会誌「医学検査」12 号及びホームページ<<http://www.jamt.or.jp>>へ掲載します。
受講申込は、申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局まで申し込んでください。

テーマ	国民へ“安全で質の高い医療”を提供するために	
会 期	平成 20 年 1 月 25 日 (金) 10:00~17:00	
会 場	大森東急イン	〒143-0016 東京都大田区大森北 1 丁目 6 番 16 号 TEL: 03-3768-0109
内 容	10:00~12:00	① 医療安全管理に必要な心がけ 社・日本看護協会 常任理事 楠本 万里子 先生 ② 医療安全と感染管理 厚生労働省 <予定>
	昼 食	
	13:00~17:00	③ 患者の安全確保のポイント 財・日本医療機能評価機構 <予定>
		④ 電子カルテの医療安全に果たす役割 社・日本医師会常任理事 今村 定臣 先生
		⑤ 静脈穿刺における神経障害 大阪府赤十字血液センター副所長 谷 慶彦 先生
		⑥ 生体検査部門における医療安全対策 社・日本臨床衛生検査技師会 情報調査部 町田 幸雄 理事
募集人員	150 名<定員になり次第締め切ります>	
参加資格	日本臨床衛生検査技師会員	
受講料	10,000 円<テキスト代含む>	
申込要領	詳細が決定次第、当会ホームページ< http://www.jamt.or.jp/ >に掲載します。 受講申込は、ホームページをご覧ください。申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局まで申し込んでください。	
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7 (社) 日本臨床衛生検査技師会 TEL: 03-3768-4722 FAX: 03-3768-6722	
生涯教育	基礎教科 20 点	

※ ご不明な点は 当会事務局<申込先>へお問い合わせ下さい。

※ テキスト: ① 各講師の講演要旨 ② 「医療安全管理指針」(当会ライブラリー)

予告

第2回 日臨技フォーラム <人財育成フォーラム> 平成20年2月10日(日)ヤクルトホールで開催予定!

一般公開7-6

本年 5 月 19 日(土)に開催した「第 1 回日臨技フォーラム」<会報 JAMT, Vol.13, No.6-P6 参照>に続き、第 2 回フォーラムを平成 20 年 2 月 10 日(日)にヤクルトホールで「一般公開」で開催します。

今回は「男女共同参画社会の実現に向けた取り組み」更に、今や社会的問題でもある「乳がん」がテーマです。
アメリカでは女性の 8 人に 1 人、日本でも 20 人に 1 人が乳がん罹るといわれています。しかし、早期発見により 95%が治癒すると言われており、その早期発見がポイントとなります。

乳がんは女性だけの問題ではありません。2000 年に開催された“国連ミレニアムサミット”において、国際社会の目標として採択された「ミレニアム宣言」<本紙 2 ページ参照>にも沿った重要なテーマです。乳がんの予防・早期発見の重要性をおし、検査に貢献している「臨床検査技師」の活躍をも一般国民に理解してもらいます。

講師には、歌手であり、エッセイスト、社会科学博士としても活躍されている **アグネス・チャン氏**をお迎えします。世界中の人達とのふれ合いを通し、男女共同参画社会の実現に向けた日本の国際化、平和と人権、環境など…更には「乳がんとの戦い」「未来の子供を守る」「みんな地球に生きるひと」等など、実体験を活かした「**熱い思い**」を語っていただきます。



ピンクリボンは「乳がんの早期発見・早期診断・治療」の重要性を知るシンボルマークです。これはアメリカで 1980 年代に盛んになりました。行政や市民団体や各企業が乳がんの予防・早期発見の啓発のためのイベントを行い、ピンクリボンを普及させた結果、検診率が高まり乳がんによる死亡率は低下しました。
日本では、ピンクリボン月間の 10 月には「**東京タワー**」もピンク色にライトアップされました。